



園だより

2019.10.31 No.6

10月、運動会を終えて幼稚園の園庭では、毎日のように運動会の余韻が残り、異学年が混ざり合いリレーや玉入れ、ダンスと盛り上がりを見せていました。踊りを教えようと一生懸命踊る子ども同士の姿は微笑ましいものがあります。綱引きも楽しそうに引き合う姿、パラバルーンを触り大はしゃぎする子ども達、普段の園庭遊びの姿とはまた違い、このような事を通して異年齢でも仲良くなることが出来ると良いものです。

また、先日は全園児で『ダルマさんがころんだ』を行いました。ルールややり方を説明し行くと、間違えながらもうまく出来る子ども達でした。今では園庭遊びの際に子ども達だけで遊びを始め行う姿があります。これからも園生活の中で自分達でやりたい遊びを見つけ、友だちとの関わりを深めたり、広げたりしていくことが出来るように見守って参ります。ダルマさんがころんだの他にも、様々な外遊びがあります。少しずつ伝えながら、色々な遊びが出来るようになると、遊びの幅も広がる事と思います。

本園も新制度となり、2年目を迎えております。新制度では全職員に研修を受ける義務があります。年間決まった分野や時間数は必ず研修を受けるようにしなければならない為、放課後や日々の保育日数の中でも、研修がある際には行かせて頂いております。幼稚園教育要領が改訂施行された改訂ポイントである能動的な遊びと生活、小学校への接続、更に幼児期の学びで強調されている非認知能力の獲得を実現させるために、保育者は責務を自覚し、資質向上を目指すことが求められています。園ではこれからも文部科学省、厚生労働省、内閣府が打ち出したキャリアパス制度に対応する様々な研修を受けることで、保育の資質向上に努めて参りたいと思います。

先日の芋掘り遠足は雨天にならないか心配されましたが、雨が降らず芋掘り遠足に行くことが出来ました。都内を出るまで雲行きが怪しかったのですが、芋掘りの現場に着く頃には晴れ間も見られ、暖かく心地よい気候の中で芋掘りをする事が出来ました。今年若草幼稚園で掘った場所は、他の場所に比べ豊作だったと、提供して下さった農園の方が教えて下さいました。子ども達も、「まだあるよ。」「大きいよ。」等嬉しそうな顔をしながら、一生懸命掘って抜いていた子ども達でした。11月は年長の鎌倉ハイキング、晴れる事を願っています。

---

10月に入り、暖かい日や寒さを感じる日など、体調の維持に気を使う気候が続き、季節の変わり目を感じます。また、台風などの災害があったりと、当たり前前に生活ができることに改めて感謝をしなければならないことや、災害への備えや対応についても再確認する機会となりました。また今月は、親子観劇、芋掘り遠足、ハロウィンスイートポテトパーティーなどの、行事を通し、本物を観たり、自然に触れたり、収穫を食したり、その大切さを体験できたと思います。

さて、今月でひよこ組の前期の課程が終了しました。親子一緒に過ごすことや、他のお友だちとの関わりを通して、社会を学ぶ機会になってくれたらよかったなと思います。ひよこ組に限らず、幼稚園の3年間は、この時期にしかできない親子の関わりがたくさんあると思います。登園を1つ例にとってみても、親子で手を繋いで歩いて登園する。晴れの日、曇りの日や雨の日、季節の移り変わりを、親子で体感したり、目で見たことを、親子で会話をする。その3年間の親子の積み重ねは、とてもすてきな、親子の思い出になると思います。自転車に乗せてしまうのは、簡単なことですが、家から歩いて登園してみるとまた違ったコミュニケーションがはかれるのではないのでしょうか。親子でのいろいろな経験が、お子様の成長につながると思います。

佐藤

秋らしい気候というよりは、冬に近いような寒い日が続いております。子ども達には寒い日の過ごし方について話しをしてみました。(風邪が流行る時期なので手洗いうがいを丁寧にやる事、体を沢山動かす事、長袖は濡れたり汚れたりしないように腕をまくる事など)「そうなんだ～」としっかりと聞いていた子ども達ですが、いざ手を洗うと腕まくりを忘れていました。まだ習慣がついていないようなので、習慣付くように見ていこうと思います。また、ちゅうりっぷ組の子ども達も自分の事は自分でできる子が増えてきました。「お母さんが先生に手紙を渡してって言ってたよ」「絵の具の服、持ってきたの。お母さんがしまっってねって言ってた」と、お母様の話しをしっかりと聞いているようです。お母様がきちんと話して下さると、子ども達の成長に繋がります。これからも提出物や着替えをしまう等自発的にできるように見ていこうと思います。年中や年長は先生に言われなくても自分の事は自分でできると思います。特に年長は小学校に向けても自分で考えて行動ができると良いです。「ここに登ったら危ないからやめようかな?」「今は先生が話してるから静かにしよう」など自分で考えて生活ができるようにご家庭でも見て頂けたらと思います。

劇に向けて練習を頑張ったり、園庭で沢山遊んだりしながら更なる成長を期待しています。

---

秋を通り越して冬の肌寒さを感じるこの頃、子ども達は秋の落ち葉や木の実などを使って木の実製作や、银杏詰めを楽しんで行っています。女の子達はカラフルなりボンを使い、首からかけられるように作ったり、男の子達はフウセンカズラを使って動物の顔を作ったりと様々なものが出来上がっています。階段や廊下に飾ってあるので、子ども達もそれらを見ながら秋を感じているようです。

さて、先日お芋掘りへ行き沢山お芋をとって来ました。細長いお芋から太くて丸いお芋まで、様々な形のお芋があり、「負けないぞー！」どれだけ多くとれるか勝負している子もいました。土の中には、幼虫や大きなイモムシもいて、大喜びな子ども達。沢山とれてよかったです。その後は、ハロウィンスイートポテトパーティーを行い、お芋を洗うところから、皮をむくところ、お芋を潰しバターや砂糖を混ぜるとこまで子ども達と行いました。自分達で作ったからか、さつまいもが苦手な子も「頑張ってたべたよ！」と嬉しそうに空のお弁当箱を見せてくれました。作る過程で、手を洗う際に体操着のポケットにハンカチが入っていない子が数人目立ちました。年長組は年少のときから続けている事なので、徹底して行えるようにしてほしいと思います。自分で行える事が増えてきたからこそ、準備するところから、子ども達が自ら気付いて行えるとより良いなと思います。風邪もはやってくる季節になるので、手洗いうがい、水分補給も沢山していきたいと思います。

ますます深まる秋を感じながら、自然とのふれ合いを楽しんでいる子どもたち。園庭で木の実製作をしたり落ち葉を拾ったり秋らしい遊びを楽しんでいます。この間行った芋掘り遠足では、「大きいお芋掘るんだ」と部屋の中で張り切っていました。

当日は、手やスコップを使って頑張ってお芋を掘っていました。「みてみて！」「大きいお芋掘れた」と嬉しそうに見せてくれ、大事そうに持っていました。みんなが掘ったお芋でスイートポテトも作りました。今年は芋を洗うところから子ども達と協力しながら行いました。皮を向いて潰すのも子ども達で「次どうぞ」と順番にやっていました。作り終えた後みんなでお腹いっぱい「おいしい」「作り方覚えたからお家でもやってみる」と言って楽しんでいる様子でした。

劇の練習も少しずつ始めています。自分達で話し合っ役を決めました。自分の意見がまだ言えず、なかなか役が決まらない役もありましたが、最終的にしっかり役が決めることが出来ました。まだ恥ずかしいようで、声や動きが小さくなってしまいう子が多くいる為、自信がつくまでこれからも練習を頑張っていきたいと思います。

---

いよいよ11月から後期に入ります。来年度に向けて、幼稚園生活を送るための練習が始まります。

最初は、受け入れの際、きっと泣いてしまうことでしょう。ですが、毎週幼稚園へ行くたびに、子ども達の心の中でそれぞれ子どもにも個人差がありますが、そのうちにふっきつれて泣かなくなります。

おかあさん、おとうさん、ご心配かと思いますが、受け入れの際は、速やかに預けて、お迎えの際「おかえり！」と笑顔で抱きしめていただきたいと思います。

火曜日、金曜日とひよこ組はあります。ぜひ、ご家庭でも、幼稚園の生活に合わせて、早寝早起きをしましょう！！

そして、前期のひよこ組でやった親子で製作、親子で体操をしてみてください。そのようにして行く事で、こどもも幼稚園が楽しくなり、きっと笑顔で、「ってきます！」とおかあさん、おとうさんにいえるようになることでしょう。

ご協力、宜しくお願い致します。

11月をわたしも、楽しみにしております。

## 10月の絵本

(年長)

- ・エルマーとウイルバー ・ごめんねともだち
- ・ねこのピートだいすきなよっつのボタン など

(年中)

- ・かぐや姫 ・どんぐりむらのおまわりさん
- ・ばけたくんおるすばんの巻 など

(年少)

- ・トリックオアトリート ・ジャックと豆の木
- ・おおきなかぶ など

## 11月の歌

(年長)

- ・クラリネットこわしちゃった など

(年中)

- ・まっかな秋 ・にんげんっていいな など

(年少)

- ・てをたたきましょう ・きたかぜのチャチャチャ など